

お客様の所へ仕事の話で行った時のこと

何年か前の話になりますが、私がお客様の所へ仕事の話で行った時のことです。お客様の家の茶の間で奥様と話をしているときに突然電話が鳴り奥様が出ました。

ちょっと長くなるようでしたので、私は、電話が終わるのを待っていましたが、なかなか終わらずメモを取るようでした。自然に話の内容が私にも少しわかるようでした。

メモの内容も私からも見えるテーブルの上で書いていました。

その内容は、山形警察署の生活安全課の〇〇さんと書いてあったので、ちょっと注意深く聞き入っていると、家族構成とかJAの貯金通帳がどうかしたとか。

私は変に思い、紙に「電話代わりますか？」と書いて奥さんに見せました。それを見て、電話の相手に「ちょっと私あまりわからないので電話代わります」と言って私に代わりました。

私は現在少年補導員をしておりますので、生活安全課はそのような事は聞かないのではないかと思い、それを踏まえて電話で「生活安全課を知っているので、電話で確認します」と言ったら、慌てた様子で電話を切られました。

それこそ詐欺の電話だったのです。

奥様は、旦那さんが亡くなってから一人暮らしで、私が来なかったら騙されているところでしたと言って、これからは知らない電話には出ないと言っていました。携帯の電話も登録して名前が出た人にしか出ないと言っていました。

これから私も周りに気を配って、いろいろな面で奉仕活動をしていきたいと思いました。